



岩手県県北家畜保健衛生所
岩手県北家畜衛生協議会

目次

定期報告書を提出しましょう！	・・・1
ワクチン接種でアカバネ病から大切な胎子を守りましょう！	・・・2
見過ごしていませんか～薬剤自動添加装置が盲点に～	・・・3
迅速かつ適切な防疫措置のために	・・・4

飼養者の皆様へ

定期報告書を提出しましょう！

年に1回、家畜の飼養者は、飼養状況と衛生管理基準の遵守状況の**報告が義務**（家畜伝染病予防法）となっています。

家畜を飼養している方は必ずご提出ください。

なお、今年から様式が新しくなっておりますので、ご注意願います。

提出する内容

令和3年2月1日現在の状況を記載願います。

○「定期報告書」 ※毎年必ず報告
（基本情報、飼養衛生管理状況のチェック）

●「定期報告書の添付書類」

※1度提出されている方は省略可能

（農場の平面図、消毒設備や埋却地の詳細等）

提出窓口

① 県北家畜保健衛生所
（持参、郵送、FAX）

② 市町村、JAの
畜産担当窓口（持参）

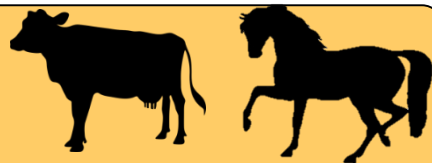
提出期限

・ **家畜**（牛、豚、馬、羊、山羊など）

→ 令和3年4月15日まで

・ **家さん**（鶏、きじなど）

→ 令和3年6月15日まで



今年度中に飼養を止めた場合は、当所までご連絡ください。

ワクチン接種で アカバネ病から大切な胎子を守りましょう！

● アカバネ病とは

- 1 アカバネウイルスの感染で引き起こされる伝染性疾患です。
- 2 7～10月に蚊（ヌカカ）の吸血により感染します。
- 3 妊娠牛が感染すると、秋～翌年の春に、異常産が発生します。

- ・ 流産、早産、死産
- ・ 奇形（手足の関節や背骨の弯曲）
- ・ 神経症状、大脳欠損、盲目 など



アカバネ病に
感染した
死産子

● 予防対策は

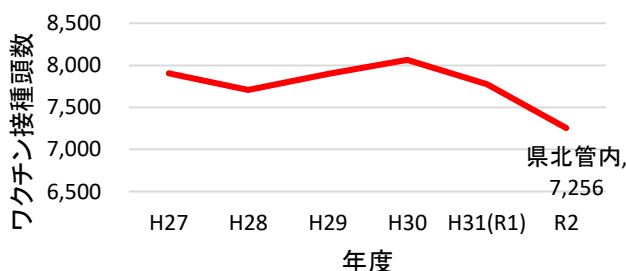
蚊（ヌカカ）が活発に活動する以前の4～6月に、ワクチン接種することで、予防できます！

- ・ 対象：妊娠牛や授精予定牛の全て
- ・ 回数：毎年1回（昨年接種した牛もお忘れなく）
- ・ 料金：1頭あたり1,940円（令和3年度予定）

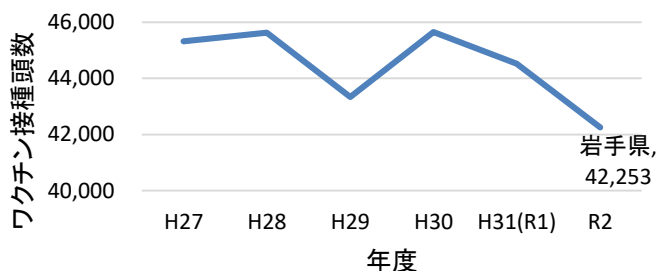
● ワクチン接種状況は

アカバネ病ワクチン接種頭数が減少しています！

県北管内のアカバネ病ワクチン
接種頭数の推移



岩手県のアカバネ病ワクチン接種
頭数の推移



● 本県での発生状況は

- ・ 昭和60年秋～61年春：6,000頭以上
 - ・ 平成22年秋～23年春：100頭以上
- ⇒ **大損害！！**

忘れずに、ワクチン接種でアカバネ病を予防しましょう！



見過ごしていませんか ～薬剤自動添加装置が盲点に～

なんとなく気付いているけど…というところを御紹介。

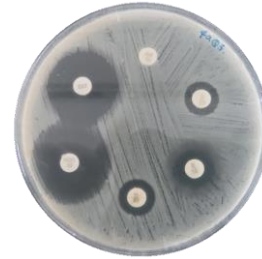
右の写真は、鶏大腸菌症が発生したA農場に立入した際、薬剤自動添加装置の薬液注入チューブ内を拭取り検査しているところです。

多くの養鶏場や養豚場で大活躍している薬剤自動添加装置ですが、装置設置後、一度も分解-洗浄-消毒や部品交換をしないまま使用し続けていると、たとえ塩素通しをやっていても、このように注入チューブ内にバイオフィームがびっしりこびりついてしまいます。

このスワブを細菌検査してみると、多剤耐性大腸菌をはじめとする様々な細菌が分離されました。ノズルを外して拭取り検査してみても、やはり同様の結果でした。



薬液注入チューブ内の拭取り検査



薬剤感受性試験



ノズル

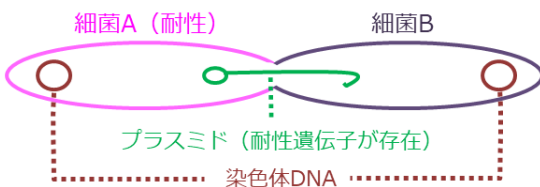


薬剤自動添加装置の使用目的の1つが、ワクチンの飲水投与です。しかし、ワクチンの中にはリアクションが小さくないものもあり、一時的に免疫力が低下する場合があります。この時、これら耐性菌を同時に摂取すると日和見感染を引き起こし兼ねません。

では、装置を分解-洗浄-消毒せず、部品交換もしていないのはA農場に限ったことでしょうか？巡回時に各農場を確認したところ、そうでもないようです。その心理や如何に。管理者さん達曰く、「下手に触って壊すのが怖い」とのこと。高い装置ですから、「その気持ち分かる」って人も多いのでは…。



プラスミド接合伝達と細菌の耐性獲得
(細菌A→細菌B)



ところで検出された多剤耐性大腸菌ですが、A農場で使用歴のない抗菌剤に対しても耐性を獲得していました。耐性獲得の多くは異種細菌間におけるプラスミド接合伝達によるものと言われています。分解-洗浄-消毒をしないままの装置内が耐性獲得の場とならない様、衛生管理の徹底が必要です。

改善事例をひとつ。B農場も、長年、鶏大腸菌症に苦しんでいましたが、右の取組みによって被害がおさまったそうです。

「アウト後に鶏舎の洗浄消毒を徹底しているのに病気が出てしまう」という農場は、参考にしては如何でしょう。

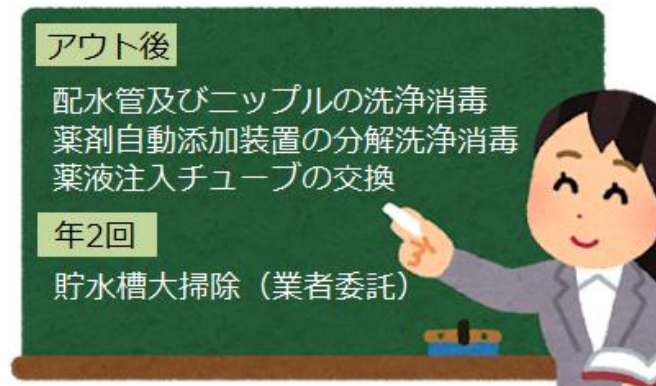
注) 装置分解の際は取扱説明書をよく読んで。

アウト後

配水管及びニップルの洗浄消毒
薬剤自動添加装置の分解洗浄消毒
薬液注入チューブの交換

年2回

貯水槽大掃除 (業者委託)





迅速かつ適切な防疫措置のために 高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）



● 今シーズンのHPAI発生状況

今シーズンは、全国各地の養鶏場でHPAIが相次いで発生しており、発生件数、殺処分羽数が過去最大となっています。

R3.3.25時点： 18県 52事例 約990万羽

● 発生農場の疫学調査結果から

発生農場では、長靴の交換未実施又は履き替え後の動線交差、集卵ベルト金網部の隙間や鶏舎内でのねずみの糞など、飼養衛生管理の不備が確認されています。

● 防疫措置上、支障となったこと

大規模飼養農場における発生、密集地域における続発等により埋却等による死体等の処理が困難になる事例が確認されました。

● 今年度の県北家保管内の農場の埋却地調査から

一部養鶏場の埋却地について、HPAI発生時に埋却作業を行う関係機関・団体（県土木部、建設業協会）と共に現地を確認しました。その結果、迅速な掘削作業のため、年に1回の刈払いや取付道の整備等について助言がありました。

東北地域の野鳥等からも本ウイルスが分離されており、今後本格的な渡り鳥の北帰行シーズンを迎え、本県への侵入リスクは更に高まると予想されます。

埋却地の確保・整備をお願いします！

◀発行元・問い合わせ先▶

岩手県県北家畜保健衛生所

電話：0195(49)3006

岩手県北家畜衛生協議会

FAX：0195(49)3008

電話：0195(49)3040